

敬 和

R 7 . 5 . 2 2 発行

それぞれの学年において、「わたしたちのふるさと」というテーマで、校外学習を実施しました。わたしたちの住んでいる地域の歴史的遺産などを見学したり、説明を聞いたりすることで、地域に対する理解を深め、この場所を好きになって欲しいと願い、実施されているものです。校外学習での感想を紹介します。

今回は「3年生の一宮城址編」です。険しい道を、グループで励まし合いながら、本丸まで登りました。途中、楽しいオリエンテーリングで、一宮城にまつわるクイズに挑戦したり、以心伝心ゲームでグループの絆を確かめ合ったりすることができました。

僕は一宮城址に行って、こんなところを毎回登ったり降りたりしていたのかと、とても驚きました。高い石垣や急な坂道があり、自分でもきついと思ったからです。それでも仲間と一緒に登れたことで、とても仲が深まったと感じています。3年生のよい思い出になりました。

校外学習を終えて、いろんな先生方のおかげでこの校外学習ができているんだと改めて思いました。山登りではみんなと相談したり協力したりして、とても楽しかったです。本丸の石垣や階段はとても迫力がありました。これから最後という行事が増えていくので、悔いのないように友達と楽しんでいきたいです。

登るのも降りるのも大変だったけど、きれいな景色や自然豊かな道を歩けて良かったと思います。そして、山を登るより大変だったのが最後の以心伝心クイズで、先生と答えを同じにするのが難しかったです。

小学3年生の頃に一度行ったきりだったので、懐かしいような気がしました。歩いて行くのは疲れるけれど、班で協力して楽しめました。金曜日に聞いた話を思い出しながら登りました。本丸の階段はほとんど崖で驚いたり、クイズしたり、最後の班だったので先生と一緒に道を下るのが新鮮でした。落ちないか心配したり、ちょっと叫んだり、とても良い校外学習になりました。

最初歩いている時は楽しかったですが、途中から階段が急になったり、山の道になったりで、とても疲れました。友達と助け合ったり、リードしてくれたりして、とても楽しかったです。山の中は少し涼しくて、いろいろなクイズも楽しかったです。最後の先生のクイズがいちばんおもしろかったです。二人と書いているものが合って、やっぱりうれしくなりました。今回で友達の支えはとてもありがたいことだと思いました。

みんなで山を登ったのが楽しかったです。クイズをみんなで考えたり、答えたりするのが楽しかったです。自分が思っていたより、山を登るのがきつかったし、けっこう時間がかかった。クイズなどすごく楽しかったです。校外学習を終えて、友達との仲が深まった気がするし、もっと一宮のことを知ることでよかったですと思います。



お天気の心配もあり、お弁当を作っていただくお手間もおかけしましたが、
 保護者の皆様、地域の皆様のおかげで、本年度も校外学習を実施することができ、
 子どもたちはかけがえのない体験をすることができました。
 ご協力ありがとうございました。



敬 和

R 7 . 5 . 2 2 発行

それぞれの学年において、「わたしたちのふるさと」というテーマで実施された校外学習。

今回は「2年生の上八万地区編 宅宮神社・JA椎茸菌床栽培工場の巻」です。3学年の中でもいちばん盛りだくさんの2年生の校外学習。充実した1日になった様子が感想の中にも表れています。

宅宮神社

小学校の頃も校外学習で行ったけど、もう忘れかけていたので、もう一度お話を聞くことができとても良かったです。宅宮神社は本当にすごい神社だということが分かりました。どこがすごいのかというと、皇室や政府しか使えないとても貴重な「五七の桐の紋」を使ってもいいという許可を受けているところや、とても昔の文字『神代文字』があるところです。神社や神社のすぐ近くにある建物を見て行くと、とてもいろいろなものがあった楽しかったです。紙で作られたジオラマはとても紙だとは思えないほど作りこまれていてすごいなと思いました。すぐ近くの神社なのでまた行きます。

宅宮神社で一番心に残っているのは、日本で一番古い神社ということです。日本書紀に出てきていると聞いてすごく驚きました。

宅宮神社のことについて話を聞いた時、私が一番心に残ったのは、四国で一番古い「勾玉」というのが残っていることや、弥生時代からこの地域が栄えていたということです。今はおうちやコンビニしか建っていないこの地域が、昔は栄えていたことに驚いて、私は自分が住んでいる地域に誇りを持ちました。そして自由見学をさせてもらった時に、たくさんの和紙で作られた人形があって、その人形がお神輿を担いでいる姿や、農業をしている姿などがあって、今もずっと続けられているのがすごいと思いました。また家族とも来てみたいと思いました。

いろいろな歴史が宅宮神社にはあるんだなと感じました。日本一古い神社ってことが分かって、自分の住んでいる地域がそんなにも長い歴史を持っていて有名だということを聞いてうれしかったです。宅宮神社はたくさん今までお世話になったので、たくさんのことを知れてよかったです。

自分の住んでいる地域は、何もなくて、田舎でどうしようもないところと思っていました。でもこの校外学習を通して、上八万は歴史深い地域なんだと改めて思いました。宅宮さんの元になる神社は、2000年以上も前からこの上八万にあったこと、宅宮神社を拠点として、西山、東山、中山などの住所が決められていること、など、いろんな上八万のことを知ることができて、非常に楽しむことができました。これからも自分の地元を大切にしていきたいと思いました。

宅宮神社は日本で一番古い神社で、戦国時代に戦争で一度焼けたことがあると聞いて驚きました。これからも宅宮神社を大切にしようと思いました。

私たちの地域の文化や伝統をこれからもずっと守っていけたらいいと思っています。

椎茸工場

椎茸を作ってくれる人たちに感謝しようと思いました。椎茸のブロックの素が外に山積みになっているのを見て驚きました。徳島は菌床椎茸を日本で一番生産していて、それが17年間ずっとだと聞いて、徳島の椎茸をもっと食べて行きたいと思いました。

椎茸は上八万で育てているものが日本一というのを聞いて「そんなことある？」と私は感じました。グラフを見ると菌床椎茸の生産量は徳島がずば抜けて高く、1位だったことに驚きました。椎茸倉庫の中には椎茸を育てるものがいっぱいあり、倉庫中が椎茸の香りであふれていました。正直椎茸は苦手ですが、椎茸を育てるいろいろな機械や、育てる過程を知ると「こんなに頑張っているのだ。」「椎茸は美味しそうだ。」と感ずることができました。

自分が住んでいる徳島の椎茸の生産量が全国1位ということを正解したのがうれしかったです。僕の育った大好きな徳島が1位だった。

私はJA 椎茸菌床工場で話を聞いて、徳島県の菌床椎茸の生産量は全国1位ということを初めて知ってびっくりしました。720個作るのに6時間かかるということは、作る時の工程がたくさんあって大変だからと思うので、菌床椎茸を作っている人に感謝したいです。

お父さんが椎茸をしているのですが、菌床をよく知りませんでした。なので今回JA 椎茸菌床工場に行っているいろんなことを知ることができました。とてもうれしかったです。おがくずとチップと栄養体を混ぜ合わせて菌床を作るそうです。徳島は菌床椎茸の生産量が全国一位だそうです。聞いた時はびっくりしました。それだけ椎茸は徳島にあっていんだなと思います。とても広いところで作っていました。たくさんの段階を踏んで作っていることが分かりました。これからも美味しく椎茸をいただきたいと思います。



敬 和

R 7 . 5 . 2 2 発行

それぞれの学年において、「わたしたちのふるさと」というテーマで実施された校外学習。
今回は「2年生の上八万地区編・川西遺跡のご講義の巻」と、「1年生の一宮地区編」です。
たくさん歩いて大変な道のりでしたが、充実した1日になった様子が皆さんの感想の中にも表れています。

2年 川西遺跡

川西遺跡はコンビニ 50 個分と意外と大きくて驚きました。約 9 万点の遺物を見つけて、過去のことを推測するのはすごく面白そうだなと感じました。日本の歴史の長さを巻物で見た時、2年生全体を囲めそうなぐらい長くて、特に旧石器時代がほとんどを占めていてすごく驚きました。出工品の川原竹の跡が今もとてもきれいな状態で見つかるのは本当にすごいと思いました。他にも将棋の駒などが見つかっていて、当時の人たちの遊びが今につながっていて面白いと思いました。護岸施設も見てみたいと感じました。自分が住んでいる地域に普通の村ではないすごい村があると思うと誇らしいです。

川西遺跡は、鎌倉時代から室町時代の遺跡ということを知りました。全長 45m で8ヶ月で約 5000m²の広さを発掘し 9 万点もの出土器があるということに驚いています。さらに日本最古級とされる護岸施設もとてもすごいと思いました。石も、採れる場所が限られる「青石」という種類でそれもすごいなと思いました。護岸施設は、鎌倉時代初期は小さな岩石で積み上げられ、時間が過ぎてゆくにつれ大きな岩石が作られていると知りました。人々の知恵が詰まったものだと感じました。

今回お話を聞いて、徳島にはさまざまな文化財があるし、私たちの身近なところにも文化財があることを詳しく知ることができました。川西遺跡は、瓦や木管、将棋の駒、花のつぼみなど、遊ぶための道具や、弥生時代の遺物も見つかっていることも知り、とても昔のものが見つかっていることがすごいと驚きました。その中でも木簡は、ひらがな、カタカナ、漢字が書かれており、とてもすごいものだと感じました。寺山遺跡と川西遺跡。同じ模様の瓦が見つかって「えっ」とビックリしました。今まで知らなかったことや不思議に思っていたことを今回知れてよかったです。

僕は、川西遺跡が上八万町にあることを知りませんでした。しかもその遺跡が護岸施設としては日本最古のものだと知って上八万町ってすごいなあと思いました。川西遺跡から出土した遺物の中で、僕が特に心に残ったものはトレイのようなものなどの木製品です。将棋などで昔の人が娯楽をしていたと考えと、何か面白くて楽しかったです。歴史は、自分たちが習っているところ以外にも、さらにもっと昔の人の暮らしや生物などどんどん知りたくなりました。僕はあまり歴史に興味がなかったのですが、今回の授業で興味を持つことができました。

もともと川西遺跡があることを知りませんでした。今日、いろいろ聞いて、鎌倉室町時代のものだということはとても驚きました。出土した遺物が約 9 万点で、とても多く、その中でも「かわらけ」という今でいう紙コップのような使い捨ての焼き物のコップがとっても軽いのになんて丈夫で堅かったです。あと漢字、ひらがな、カタカナで書かれた木簡や、カタカナで書かれた将棋の駒がとっても珍しいものらしく、歴史の教科書でも見たことがなかったのでとてもうれしかったです。最後に実際に遺物に触れることができ、お皿がとってもツルツルで、今でも使えそうなくらいでした。あと、コマもあり、当時の遊び道具は木でできていたんだなと知りました。また川西遺跡に行く際に、今日のことを思い出したいと思いました。

僕は上八万町にも埋蔵文化財があんなにあることにびっくりしました。遺跡一つでそのとき起こったこととかその人たちの生活がわかるところが良いなと思いました。遺跡を見つけるために、建物を建てる前に一度埋蔵物がないかを調べるというのはすごく時間のかかるものだと思うけど、そうやって歴史を次の世代に残して行こうという姿がすごくいいなと思いました。僕も遺跡とかすごく興味があるので、そういう仕事もしたいなと思いました。出土品はいろんなものがあったけど、当時の刃物がいちばん時代を感じられて良かったです。

私がこの話を聞いていちばん心に残ったことは、川西遺跡のある場所は、昔重要な役割をしていたということです。それがわかったのも、遊具があって、昔の紙コップのような役割のものがあると知ったことがきっかけで、遺跡などに関わる仕事をする人は、想像力もすごいと感じました。私が思っている以上に、この地域には大切な場所があるんだなと実感しました。私もいつか本物の遺跡を間近で見たいです。鎌倉・室町の遺跡も力があって、一宮にも城があって、昔は栄えていた地域である上八万町は、今もいい地域だから、いっぱい人に集まってほしいです。私は小さいころ川西遺跡を知らなかったから、近くを歩いたり、車で走を通ったりするたびに、どうしてあそこはあんなに広いのに公園などを作らないのかなと思っていました。でもこの話を聞いてからは、川西遺跡あるからと理解できました。

今日の学習でまず文化財は 7 種類あることを知りました。その中で河西遺跡は埋蔵文化財だと知りました。また、歴史の長さを実感しました。旧石器時代と縄文時代がとても長くて、いまでは昔のことなのに、次に平安時代などが最近に思えました。次に、川西遺跡のことを知りました。鎌倉から室町時代で 9 万点以上もの遺跡が出土したことが分かりました。また日本最古の石の護岸施設があり、船着き場だったと考えていることも分かりました。他にも、かわらけが出土していて飲み会をしていたことや、瓦が出土して重要な場所だったことも分かりました。最後に出土品を実際に見たり、触ったりして、土から出てきたから砂っぽかったです。壺やきれいなお皿、将棋があって、昔の人も今使っているものを使っていたんだなと思いました。



敬 和

R 7 . 5 . 2 2 発行

それぞれの学年において、「わたしたちのふるさと」というテーマで実施された校外学習。

今回は「1年生の一宮地区編」です。一宮神社の歴史の深さに触れた後、一宮地区のフィールドワークに出かけました。

一宮神社

僕が一番身近にある一宮神社に、こんな神話や建物の工夫があることに驚きました。あと江戸時代ごろに建てられたことを知りました。そんな昔の建物が見えるので、現地に行くのがもっと楽しみになりました。一宮神社に行って、大昔に塗られた色や、国の重要文化財になっているものが見えて、いい経験になったと思います。

一宮神社の由来は、平安時代に阿波の国で一番格式の高い神社につけられたので、阿波一宮だとわかった。そこに祀っている神様はなんと目から米が出て、鼻から小豆が出て、耳から粟、おしりから大豆が出るというのにびっくりしました。実際に見に行ったら思ったことは、本当に狛犬が八体でびっくりした。太鼓橋の角度がすごく急だったので、「あ、これ絶対渡れん」と思った。本当に神様だけが渡れると思った。本殿の色が今でも残っていて感動した。

近くにこんなすごい神社があるとは知りませんでした。神社とお寺の違いも意識しなかったので今日学べて新しいことを知りました。実際に見に行くと、そこは空気が変わって、涼しい場所でした。鳥居はとても大きくて、馬は2つとも細いところまで作られていて、昔の人はどのように作ったのか興味を持ちました。狛犬も一つ一つの部分がとてもきれいでした。

自分の通う学校の近くには、今も大切に守られているものがあると知ることができた。徳島で一番格式の高い神社だということが知れてよかった。今まで受け継がれてきた文化を、これからも守っていかなければならないと思った。

私は小さい頃からよく一宮神社に行っていたのですが、今日話していただいた内容をほとんど知りませんでした。だから、神様の話なども聞けてうれしかったです。初めて「オオゲツヒメ」の存在を知り、とても興味深かったです。一宮神社に実際に行き、普段はあまり見れていなかった細かい部分も見えてうれしかったです。これからも歴史の深い一宮神社を、大切に守っていきたいです。



1年 一宮町史跡

心に残ったのはそでもぎの祠です。昔の戦で一宮城が攻められて、そのお姫様が逃げる時、祠の横の松の木に、服の袖をちぎってかけ、仲間に自分は生きていることを知らせたのが名前の由来だそうです。近所の祠にこんな話があって、他にも知りたいと興味がわきました。今日教えてもらったことを、後輩や兄弟にも教えてあげようと思います。

いちばん心に残ったのは 105 名切腹の地の話です。たくさん人が亡くなって、馬も一緒に死んでしまった話は驚きました。そして木村和蔵先生の石碑が町を見渡せるような高いところにあっていいなと思いました。そこから石垣が少し見えたりもしました。地域の歴史を誇らしく思えるようになったと思います。

木村和蔵先生が子どもたちのために、歴史の大切さや教養の大切さを教えたのがすごいと思った。私も次の人たちに受け継いでいきたいと思った。

一宮町史跡のお話を聞いて、一宮町のこの小さな場所でもたくさんの歴史があることに驚きました。石碑からまわりを見渡すと、この一宮町全体が見えて、ここで戦いがあったと思うと、昔の人はたくさん考えて作っていることが分かりました。下を見渡すと一宮橋も見えました。今の公園が、昔ではたくさんのいろんな人が通ったのかなと思いました。歴史に載っていないなくても、争いがあったのかなとか、たくさん想像できてとても楽しかったです。

自分の地域には、たくさんの史跡があると知れた。一つ一つの史跡に、多くの人々が関係しており、その人々の働きで、今この町があって、そこに住めているんだなと実感した。学校から歩いて行くのは大変だったけれど、その分新しい場所でたくさんのことを発見できた。これからもこの町をいっそう良くできるようにがんばりたい。

一つ一つ全て丁寧に分かりやすく説明していただけたので、私たちの住んでいる町にこんなに大切なものがあることを知れたので、これからも守っていききたいです。

私は木村和蔵先生の石碑がいちばん心に残った。家が貧乏で、教科書は買えなく、学校に行けない子どもたちのために、自分の家で授業をしたりするところがすごくいいなと思いました。また怪我したらもっと貧しくなるのを考えて、つもり預金を考えたり、進学させる手伝いをしていたというのもすごいなと思った。この石碑には教え子たちなどの木村和蔵先生への感謝の気持ちがこもっているのかなと思った。

